

バックオフィスにおけるAI活用推進セミナー

主催 有限責任監査法人トーマツ 静岡事務所

この度、有限責任監査法人トーマツ 静岡事務所では、地域の活性化および地域企業の生産性向上に貢献すべく、「バックオフィスにおけるAI活用推進セミナー」を対面形式で開催いたします。

近年、物価高や賃金上昇、円安、災害リスクの高まりに加え、地方における労働人口の減少が進行しており、企業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。こうした中、総務・人事・経理・法務などのバックオフィス部門においては、DXによる業務の標準化・効率化に加え、AIの活用による省力化・高度化が、持続的成長を支える重要な経営課題となっています。

一方で、現場では「DXやAI活用をどこから始めればよいかわからない」「導入を進めても期待した効果が得られない」といった課題も多く、特に少人数で幅広い業務を担う地域企業にとっては、実行に移すこと自体が容易ではありません。

本セミナーでは、生成AIを搭載したAI-OCR「Documentforce」を展開するドキュメントフォース株式会社と中小・中堅企業のSaaS・AI導入・バックオフィス効率化を支援するデロイト トーマツ smooth 株式会社及び企業の業務変革を会計・監査・内部統制の観点から支援する有限責任監査法人トーマツの3社で、バックオフィスDXおよびAI活用の実務上のポイントや事例をご紹介します。

デジタル化を推進したい企業の皆さまはもちろん、AIを業務にどう取り入れるべきか検討中の皆さまにとっても、具体的なヒントを得ていただける内容です。バックオフィス変革の第一歩として、ぜひご参加ください。

【日 時】 2026年7月8日(水) 15:00 - 17:30 (14:30より受付開始)

【開催形式】 対面形式(リモート配信はありません)

【会 場】 有限責任監査法人トーマツ 静岡事務所 17階セミナールーム

住所: 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー 17F 詳細は3頁の地図をご参照ください。

【対 象 者】 経営者、経営企画部門・財務経理部門・情報システム部門の担当責任者様向け

(会社規模を問わず、下記のような課題・要望をお持ちの皆様)

- ・バックオフィスDXを進める必要性は認識しているが、どのように取り組めばよいのか分からない
- ・業務改善活動はおこなっているが生産性向上に繋がっていない、成果が見えない
- ・スモールに始めて成果が上がるバックオフィスDXの事例を知りたい
- ・子会社のバックオフィスDXを通じた、グループ決算の早期化や効率化を目指したい

【定 員】 30名 定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

また、同業者と思われる方からのお申込はお断りさせていただきますのでご了承ください。

【料 金】 無料

【セミナー概要】

時間	テーマ	登壇
15:00-15:05	開会のご挨拶	有限責任監査法人トーマツ 静岡事務所 パートナー 望月 邦彦
15:05 ~ 15:30	AI 利活用の潮流と進め方	デロイトトーマツ smooth 株式会社 代表取締役社長 中野 祐希
15:30 ~ 15:55	ワークフロー型 AI ツールでの利活用事例	有限責任監査法人トーマツ 内部統制・経営体制アドバイザー パートナー 森 宗太郎
15:55-16:00	休憩	
16:00:-16:30	AI-OCR の利活用とペーパーレス化の推進事例	ドキュメントフォース株式会社 代表取締役社長 阿部 諒馬
16:30-17:00	AI ガバナンス構築の留意点	有限責任監査法人トーマツ デジタルアシュアランス事業部 パートナー 長谷 友春
17:00 ~ 17:30	ネットワーキング	

テーマ・登壇者は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

【申込期限】 2026 年 7 月 6 日(月)17 時

【申込方法】 以下の URL または QR コードよりお申し込みをお願いいたします。

URL:

<https://tohmatu.smartseminar.jp/public/seminar/view/67832>

本講座の申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。

ご回答いただく内容は、SSL 暗号化通信により内容の保護を図っております。

過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申込みいただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご設定済みの ID・パスワード

で簡単にお申し込みいただけます。

お申込みは 1 名様ずつのご登録が必要になります。

まだ ID・パスワードをお持ちでない方は、上記 Web サイトより、[新規ユーザー登録はこちら]をクリックし、ID・パスワードを設定してユーザー登録をお願いします。その後、設定した ID・パスワードでログインしてセミナーにお申込ください。

お申込が完了しましたら、システムより自動配信にて「申込完了」メールをお送りいたします。

開催 1 週間前までに、マイページのご案内メールを送信いたします。

Web よりお申込ができない方は、セミナー事務局までご連絡ください。

なお、Gmail や Yahoo!メール等のフリーメールアドレスでご登録の場合には、メールが届かない可能性があります。

ご登録いただいた際にメールの配信がない場合には、事務局までご連絡ください。

フリーアドレスではなく、お客様ご所属の企業・組織のメールアドレスにてご登録(既にご登録済みの方はご変更)いただきますようお願いいたします。

【注意点その他】

- ・講演の録音はご遠慮ください。
- ・キャンセルは 2026 年 7 月 6 日(月)17 時迄にお電話またはメールをお願いいただければと存じます。
- ・定員に達した場合には、お申し込みをお断りすることがございますので、ご了承ください。



【当日ご持参いただくもの】

受講票 又は 名刺

【お問合せ先】

有限責任監査法人 トーマツ 静岡事務所 セミナー事務局 望月

静岡県静岡市葵区紺屋町 17 番地の 1 葵タワー

Tel: 054-273-8091 / Fax: 054-669-4326

e-mail: jpszhuokaseminar@tohmatu.co.jp

Web よりお申込ができない方は、セミナー事務局までご連絡ください。

【会場住所・地図】

静岡県静岡市葵区紺屋町 17 番地の 1 葵タワー17階 セミナールーム



デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社ならびにそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ グループ合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内約 30 都市に 2 万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト、<http://www.deloitte.com/jp> をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人(総称して“デロイトネットワーク”)のひとつまたは複数指します。DTTL(または“Deloitte Global”)ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は<http://www.deloitte.com/jp/about> をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市(オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む)にてサービスを提供しています。

Deloitte(デロイト)は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約 9 割の企業や多数のプライベート(非公開)企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来 180 年の歴史を有し、150 を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters” をパーパス(存在理由)として標榜するデロイトの約 46 万人の人材の活動の詳細については、<http://www.deloitte.com/jp/about> をご覧ください。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2026. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.